



平成23年11月4日

各 位

上場会社名 栗林商船株式会社
代表者名 取締役社長 栗林宏吉
(コード番号 9171 東証第2部)
問合せ先責任者 取締役経理部長 阿部英之
(TEL. 03-5203-7982)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	△200	△500	△800	△63.59
今回修正予想(B)	20,534	27	31	△265	△21.05
増減額(B-A)	2,534	227	531	535	
増減率(%)	14.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	21,884	453	374	△49	△3.91

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,000	△200	△500	△800	△63.59
今回修正予想(B)	40,000	400	300	100	7.93
増減額(B-A)	1,000	600	800	900	
増減率(%)	2.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	42,138	1,101	909	△337	△26.81

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	20	△20	△30	△2.38
今回修正予想(B)	8,525	309	282	3	0.29
増減額(B-A)	225	289	302	33	
増減率(%)	2.7	1,445.0	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	8,273	162	165	73	5.76

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,600	150	50	10	0.79
今回修正予想(B)	17,000	380	300	10	0.79
増減額(B-A)	400	230	250	0	
増減率(%)	2.4	153.3	500.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	15,712	345	295	132	10.55

修正の理由

前期の平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当社連結グループの重要拠点である仙台地区仙台港を基盤とした三陸運輸株式会社及び三陸輸送株式会社が甚大な被害を被り、年度初めに作成した業績予想においては、大幅な利益の減少を考慮いたしました。しかし、その後の仙台港の復興と仙台地区の営業努力により、この第2四半期連結累計期間の業績は当初計画を大きく上回る結果となりました。

残念ながら所有株式の株価低迷により投資有価証券評価損が2億7千2百万円発生したため四半期純利益の確保は出来ませんでした。当初業績予想に比べると大きく改善いたしましたので業績予想を修正いたします。同様に個別第2四半期累計期間においても平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、仙台港の稼働及び貨物の減少を予想しておりましたが、仙台港の早期の復興、復興貨物やその他貨物の輸送効率を考慮した輸送体制が功を奏し、燃料費上昇を含むコスト増を上回る結果となりました。個別においても所有株式の株価低迷により投資有価証券評価損が発生しましたが、四半期純利益を確保することができました。

連結同様に当初業績予想に比べると大きく改善いたしましたので業績予想を修正いたします。

以上